

自由記載欄について

今回のアンケートでは、保護者に対しては制度やサービス、支援策についての意見や要望を記載してもらった。

また、子どもに対しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響についてと、アンケート自体の感想、学校社会のことについての意見や要望を記載してもらった。

以下、アンケート対象と項目ごとに意見・要望の内容をまとめた。

1 制度やサービス、支援策について、利用してよかったこと、不満に思ったり困ったりしたこと、その他感想や要望、意見（保護者の自由記載欄）

◆ 2歳児・5歳児の保護者回答まとめ

- ・0～2歳までの保育料が無償ではないこと、児童手当が3歳から減額になることや、児童手当・医療費補助に所得制限があることへの声が寄せられた。
- ・希望する保育園に入園できないなど、就労する際の預け先が決まらないことについて意見があった。
- ・一時預かりサービスの利用を希望したが空きがない状況だったことやどのサービスが受けられるか分からず、利用を諦めざるを得なかった方がいた。
- ・新型コロナウイルスの影響により行き場をなくし孤独を感じている方や、コロナの影響で勤務時間が短くなったり保育園が休園になったりした時の補償が足りないことに困っていた方がいた。
- ・発達が気になる子どもやその保護者のサポート、支援機関の連携や予約の取りづらさへの声が寄せられた。

◆ 小学2年生の保護者回答まとめ

- ・子どもの発達について相談できる場所が分からないことや、予約・来所まで時間がかかることについての意見があった。
- ・児童手当・医療費・就学援助の所得制限や、その判断（年度区切り、同居による生計の計算など）について不満の声があった。
- ・新型コロナウイルスの影響による子どもの遊び場の制限や、児童会館の来館制限による仕事への支障について不満の声があった。

◆ 小学5年生・中学2年生の保護者回答まとめ

- ・児童手当・就学援助の所得制限や、中学までで援助が終了すること、医療助成が小学校6年生で終了することについての不満の意見があった。
- ・利用できる制度・サービス・支援が分からない広報不足や、手続きの煩雑さについての意見があった。
- ・学習支援の利用を希望しているものの、仕事や心理的ハードル等でアクセスできていない方がいた。
- ・不登校生徒の学習支援や居場所の少なさについての意見があった。
- ・発達障害や、グレーゾーンのお子さんについて相談先がわからなかったり、相談してもサポートが得られなかったりしたことへの意見があった。
- ・スクールカウンセラーや相談機関の予約の取りにくさや、窓口が平日しか空いていないことへの不便さを感じ、SNSやLINEなどで対面せずに気軽に相談できるサービスを希望する意見があった。
- ・母子家庭・父子家庭への支援の少なさ、生活の苦しさについて意見があった。
- ・新型コロナウイルスの影響による支出の増加や、休校になった場合のサポート不足についての意見があった。

◆ 高校2年生の保護者回答まとめ

- ・高等学校等就学支援金が世帯年収によって受けられないことや、私立高校の授業料の負担の重さ、交通費や食費の負担の重さについて意見があった。
- ・高校生・大学生に対する支援が少なく、大学進学のための経済的負担の重さや、経済的理由で子どもに進学を諦めてもらうしかない状況についての意見があった。
- ・相談窓口が分からないことや、自ら申請しないと給付金が受け取れないが教えてもらえなかったという意見があった。
- ・母子家庭で収入が上がると、生活は苦しいのに支援の対象外となることについて不満の声があった。

2 新型コロナウイルスの感染症の感染拡大によって、あなたの生活に何か影響があったか。もしあれば、どんな影響があったか。(子どもの自由記載欄)

◆ 小学5年生の回答まとめ

- ・休校時の生活リズムの乱れや、ゲーム時間の増加、運動不足を不安に思う声があった。

- ・休校時やオンライン授業時の学習に大変さを感じている児童がいた。
- ・友達と遊ぶ機会の減少や、給食中の黙食、クラブ活動や習い事の活動時間の減少によって、コミュニケーションが不足していることを不安に思う声があった。
- ・運動会や学習発表会等の行事の延期や規模縮小を残念に思う児童がいた。
- ・マスク着用に苦しさを感じていたり、表情が見えないことで気持ちが伝わらないように感じていたりする声があった。
- ・コロナ感染を恐れて自分の意志で休む児童や、休みたいと思っているのに休めないことを不安に思う児童がいた。
- ・コロナの影響で精神的に不安な気持ちになっている児童がいた。

◆ 中学 2 年生の回答まとめ

- ・外出制限や行事の中止によって、友達をつくったり、仲を深めたりすることに難しさを感じる声があった。
- ・外出制限により運動不足になる生徒や、家族の雰囲気悪化に不安を感じている生徒がいた。
- ・休校や、家族のコロナウイルス感染によって、勉強に不安を抱える声があった。
- ・旅行に行けないことや、部活や学校行事の中止・延期など、楽しみだったことができなくなったことに対してつらさを感じる声が多くみられた。
- ・マスクの苦しさや、表情の読めなさを訴える声がある一方で、人前でマスクを外すことに恥ずかしさや恐怖を感じる生徒もいた。

◆ 高校 2 年生の回答まとめ

- ・修学旅行などの学校行事の延期や中止によって、学生生活の思い出や青春の時間を奪われたことに対する不満や怒りの声がみられた。
- ・外出制限や行事の中止によって、友達をつくったり、仲を深めたりすることに難しさを感じる声があった。
- ・保護者の収入の減少や、在宅による家族関係の悪化についての意見があった。
- ・オンライン授業や休校による学習進度の遅れを不安に思う声や、逆に進度が早すぎてついていけないことを不安に思う声があった。
- ・マスクの苦しさや、表情の読めなさを訴える声がある一方で、人前でマスクを外すことに恥ずかしさや恐怖を感じる生徒もいた。

3 このアンケートの感想、学校や社会のことについての意見や要望（子どもの自由記載欄）

◆ 小学5年生の回答まとめ

- ・将来の医療費や進学費用など、経済的な心配を抱えている児童がいた。
- ・学校の先生に対する不満の声があった。特に、学校の先生が男女差別をしているとの声があった。
- ・いじめに対する学校の早い対応を求める声があった。
- ・アンケートに匿名で自分の意見を書くことで振り返りの機会になり、スッキリしたという声がある一方で、アンケートの長さや難しさについての指摘もあった。

◆ 中学2年生の回答まとめ

- ・いじめ対策や、不登校・別室登校生徒の居場所づくり、学習支援についての要望があった。
- ・高校・大学の経済的支援や、ひとり親家庭、子育て世代への支援についての要望があった。
- ・性別に関する平等を求める意見があった。
- ・コロナウイルスについて、子どもは我慢しているのに対して、危機管理の薄い大人がいることに対する意見があった。
- ・髪型などの校則や、学校の設備、ICT機器の活用方法の改善を求める声が見られた。
- ・アンケートについて好意的な意見がある一方で、このアンケートが本当に子どものためになるのか実施の意味を問う意見もあった。

◆ 高校2年生の回答まとめ

- ・このアンケート以外にも、子どもが学校や市・北海道への要望を書き、改善につながるアンケートを定期的に行なうことの要望があった。
- ・冷暖房、トイレなど、学校設備の格差を改善してほしいという要望があった。
- ・正当な理由がない校則をなくしてほしいという意見や、先生の差別的発言についての意見が見られた。
- ・コロナ禍において行事が開催できなかったことへの不満の声があった。
- ・大学進学にかかる費用の軽減や、奨学金等の知識をつける場の開催についての要望があった。